

社会福祉学部 <一般選抜 前期日程>

1

【出題意図】

高等学校で習得した基礎学力、国語力を把握することを目的として問題作成を行った。具体的には、文章理解、語彙力、設問の趣旨にそって表現する能力を問う。

【解 答】

問1 (ア) 模倣 (モホウ) (イ) 高尚 (コウショウ) (ウ) 洗練 (センレン)
(エ) 刻印 (コクイン) (オ) 把握 (ハアク)

問2 育ち

問3 (解答例)

本文中にあげられている幼児の言語習得の例にもあるように、言語は、国や地域によって異なっており、人がどの言語を習得するのかということは、遺伝的に決まるのではなく、どの文化のなかで生まれ育つかによって決まる。つまり、言語は自然の遺産として遺伝子経由で継承されるのではなく、文化による構造物として継承されてきたということである。(161字)

- (採点基準)
- ・本文の内容を捉え、述べられている
 - ・字数制限が守られている
 - ・誤字脱字がない

問4 (解答例)

言語はラベルと概念という二つの領域によって構成される。前者は文化的慣習を反映するのに対し、後者は自然を反映する。本文中の「イヌ」と「ネコ」、「鳥」と「バラ」の例にあるように、ラベルは文化のなかで恣意的に決まるのに対し、概念は本能的に把握されるものである。著者は、言語には文化と自然のいずれか一方が反映されるのではなく、その双方によって構成されるものとして考えている。(183字)

- (採点基準)
- ・本文の内容を捉え、述べられている
 - ・字数制限が守られている
 - ・誤字脱字がない

2

<出題意図>

- ・文章の読解力，設問に沿って適切に記述できる能力，論理的に思考する能力を問う。

<解答例>

問1

(ア) しい，(イ) つ (げる)，(ウ) けんじ，(エ) ごじょ

問2

正解案：人びとが生存や生活のニーズを満たすために，さまざまなサービスを家族やコミュニティのメンバーでおたがいに提供しあうこと。(59 字)

【採点基準】：

- ・本文の説明を踏まえていること (5 点)
- ・家族，コミュニティや「くらしの場」といった用語を用いて，適切に説明できていること (15 点)
- ・家族，コミュニティのメンバー間で互いにニーズをみだし合っていたことが説明できていること (15 点)
- ・文章構成力 (0～5 点)

(減点)

- ・誤字・脱字 (－5 点)
- ・字数の不足または超過 (－10 点)

問3 正解：財政

・内容的には無関係ではないものの、「財政という共同行為」という言葉が本文中にあるため、「保障」と書いた場合は10点程度の部分点。

問4 下線部②「問題はこれらのバランスがどうなっているか，だ」とあるが，「これら」の指す内容を明らかにした上で，著者が考える日本の現状について，70字以上90字以内で説明しなさい。(60点)

正解案：現代社会は「くらしの場」，「はたらく場」，「保障の場」のバランスによって成り立っているが，日本では「保障の場」が小さく，自己責任の領域がとても大きい社会となっている。(83字)

【採点基準】：

- ・本文の説明を踏まえていること（5点）
- ・「これらのバランス」の中身が「くらしの場」、「はたらく場」、「保障の場」のバランスであることを、正しく指摘できていること（15点）
- ・日本の現状として、「保障の場」の小ささについて正しく指摘できていること（15点）
- ・日本の現状として、日本が自己責任社会であることを説明できていること（15点）
- ・文章構成力（0～10点）

（減点）

- ・誤字・脱字（-5点）
- ・字数の不足または超過（-10点）

3

【出題意図】

基礎的な英語力を前提として、受験者が、(i) 英文を正確に把握できる「英語読解力」、(ii) 読解した英文の内容について、適切かつ簡潔な表現で説明を与えられる「日本語表現力」、および (iii) 平易な語彙と文法を用いた「英語表現力」を備えているかを問う。

これら3つの力は、本学入学後、専門とする学問領域に対する理解を深め、また自らの研究や実践の成果を積極的に発信する上で求められるばかりでなく、多様な文化的背景を持つ人々と英語を共通言語としてコミュニケーションを図り、さらには、そういった人びとと将来にわたって協働していく技術や態度を身につける上で、必要不可欠な英語（言語）運用力の構成要素であると考えられる。

【解 答】

問1（解答例）社会的排除という考え方は、政治家が自らの社会福祉政策を立てる上で、これまで様々な用いられ方をしてきた。

問2 Its meaning (has become) less clear.

問3 解答： (ア) in which individuals may become cut off from
(エ) see the central issue simply as one of trying

問4 解答： イ responsibility（もしくは agency でも可）

オ inclusion

問5 解答: 2

問6 解答: down

問7 解答: Banks might refuse

4

【出題意図】

表を正しく読み取る能力、定義に従って計算を行う能力、指示通りに立式して式を解く能力を問うものである。

【解答例】

問1 (答え) 1.8 倍

$$\begin{aligned} \text{※計算式 倍率} &= 795 \text{ (2020 年度大学数)} \div 446 \text{ (1980 年度大学数)} \\ &= 1.782 \div 1.8 \end{aligned}$$

問2 (答え) 1980 年度 = 18.4%, 2020 年度 = 43.7%

$$\begin{aligned} \text{※計算式① 1980 年度の割合} &= 1,459 \text{ (女)} \div 7,931 \text{ (計)} \times 100 = 18.396 \div 18.4\% \\ \text{計算式② 2020 年度の割合} &= 5,604 \text{ (女)} \div 12,833 \text{ (計)} \times 100 = 43.668 \div 43.7\% \end{aligned}$$

問3 (答え) 北陸地方 200.0%

$$\begin{aligned} \text{計算式① 増加率} &= 45 \text{ (2020 年度)} - 15 \text{ (1980 年度)} \div 15 \text{ (1980 年度)} \times 100 \\ &= 200.00 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{計算式② 増加率} &= (45 \text{ (2020 年度)} \div 15 \text{ (1980 年度)} - 1) \times 100 \\ &= 200.00 \end{aligned}$$

問4 (解答例)

東京の学生数が多いが、大学数も多いのに対して、神奈川の学生数は東京に比べて少ないものの、大学数も少ないため、神奈川には学生数の多い大学が多くあることが考えられる。(81 字)

- ①東京には学生数の少ない（人数規模の小さい）大学数が神奈川よりも相対的に多い可能性が考えられる。
- ②あるいは、神奈川には学生数の多い（人数規模の大きい）大学数が東京よりも相対的に多い可能性が考えられる。
- ③以上の理由から、東京は神奈川よりも1大学当たり学生数が下回っている可能性が考えられる。